

2022（令和4）年度栃木県手話通訳者認定試験 実施案内

1 趣旨

この実施案内は、栃木県手話通訳者認定試験実施要領に基づき、試験実施に必要な事項を案内するものです。

2 実施機関

社会福祉法人 栃木県社会福祉協議会（とちぎ視聴覚障害者情報センター）

3 期日

【一次試験】（手話通訳者全国統一試験）※別紙手引き参照

- (1) 試験日 令和4年12月3日（土）
受付時間 午前9時20分～9時40分
受付場所 とちぎ福祉プラザ 3階 エレベーター前
試験開始時間 午前10時～
- (2) 試験内容 〈筆記試験〉
手話通訳に必要な基礎知識・国語
〈実技試験〉
場面通訳（画面に提示される会話の場面を通訳し、ビデオ録画をする。）
- (3) 合格発表 令和5年3月1日（水）15時
ア とちぎ視聴覚障害者情報センター事務室内に合格者受験番号を掲示するとともに、栃木県公式ホームページ（注目・新着情報）に掲載します。
イ 受験者全員に郵送で結果をお知らせします。

【二次試験】（栃木県独自試験 ※一次試験合格者対象）

- (1) 試験日 令和5年3月11日（土）午前
時間等の詳細については、一次試験合格者にお知らせします。
- (2) 試験内容 〈面接試験〉
試験官による面接
- (3) 合格発表 令和5年3月16日（木）正午
ア とちぎ視聴覚障害者情報センター事務室内に合格者受験番号を掲示します。
イ 受験者全員に郵送で結果をお知らせします。

4 会場

とちぎ福祉プラザ（栃木県宇都宮市若草1丁目10番6号）

5 受験資格

受験資格は原則として栃木県内に居住し、認定試験合格後は栃木県内で手話通訳者として活動する意志のある者で、次のいずれかに該当する者であること。

- (1) 手話通訳者養成課程修了者
(2) 手話通訳者養成課程修了者と同等の知識及び技術を有する者
手話通訳専門課程（専門学校・大学等）の卒業（見込）者
(3) 手話通訳者全国統一試験に合格した者（一次試験免除）
(4) 手話通訳士としての資格を有する者（社会福祉法人聴力障害者情報文化センターが実施する手話通訳技能認定試験に合格した者）（一次試験免除）

6 受験申込方法

とちぎ視聴覚障害者情報センターにある「手話通訳者全国統一試験の手引き」と「受験申込書」を取り寄せ、申込書類（受験申込書・受験票・受理票）に必要な事項を記入し、受験資格を証明する書類の写し（修了証明書、卒業証書、合格証書など）を添付の上、下記まで来所または郵送にてお申し込みください。申込書類はコピーの上、すべての試験終了まで大切に保管してください。

【申込先】〒320-8508 宇都宮市若草1丁目10番6号 とちぎ視聴覚障害者情報センター 品川宛 TEL 028-627-6889 FAX 028-627-6889
--

7 申込期間

令和4年8月30日（火）～9月30日（金）（必着）

8 受験申込書取り寄せ方法

配布期間は申込期間と同じです。

- (1) 来所
とちぎ視聴覚障害者情報センターに直接取りに来てください。（日曜・祝日は休館）
- (2) 郵送
郵便番号、住所、氏名を記入し、120円切手を貼付した返信用封筒（サイズ：角2封筒）を、とちぎ視聴覚障害者情報センターあてに送付してください。

9 試験結果の開示

試験の結果について、開示を希望する場合は受験者本人がとちぎ視聴覚障害者情報センター事務所までお越しください。電話、メール、ハガキ等による開示請求はできません。

- (1) 開示請求できる者
2022（令和4）年度栃木県手話通訳者認定試験受験者
- (2) 開示期間
令和5年3月18日（土）から3月28日（火）まで
- (3) 開示する内容
試験内容別得点
- (4) 開示場所
とちぎ視聴覚障害者情報センター事務所

10 新型コロナウイルス感染予防対策

試験当日は、新型コロナウイルス拡大予防のため、マスクの持参と着用、手指の消毒、体温管理などをお願いします。

2022（令和4）年度 手話通訳者全国統一試験の手引き

実施：とちぎ視聴覚障害者情報センター
社会福祉法人全国手話研修センター

I. 試験概要

手話通訳者として必要な知識及び技能を審査するため、筆記及び実技試験の問題、採点基準、合否判定基準及び具体的実施方法等について社会福祉法人全国手話研修センターから提供を受け、各都道府県・政令指定都市試験実施団体はそれに基づき手話通訳者全国統一試験を実施します。

1. 試験日：2022（令和4）年12月3日（土）
2. 申込締切：2022（令和4）年9月30日（金）
3. 合否発表：2023（令和5）年3月1日（水）（実施団体への送付）
4. 試験内容：＜筆記試験＞
手話通訳に必要な基礎知識・国語
＜実技試験＞
場面通訳
5. 試験会場：とちぎ福祉プラザ
6. 申込先：とちぎ視聴覚障害者情報センター
7. 問合せ先：TEL・FAX：028-627-6889

II. 受験対象者

下記のいずれかに該当する人

1. 手話通訳者養成課程修了者
2. 手話通訳者養成課程修了者と同等の知識及び技術を有する者

III. 試験科目及び出題範囲

1. 筆記試験（100分）

（1）手話通訳者に必要な基礎知識

厚生労働省手話奉仕員及び手話通訳者養成カリキュラムの範囲

講義編：聴覚障害の基礎知識、手話の基礎知識、聴覚障害者の生活、障害者福祉の基礎、聴覚障害者活動と聴覚障害者福祉制度、ボランティア活動、手話通訳の心構え、障害者福祉概論、ソーシャルワーク概論、手話通訳の理念と仕事Ⅰ・Ⅱ、ことばの仕組み、手話通訳者登録制度の概要、手話通訳者の健康管理 実技編：全ての内容（「コラム」「学習の手助け」「ミニ情報」を含みます）

【出題範囲に対応するテキスト】

- 「手話を学ぼう 手話で話そう」（第4版2019年3月31日発行）
「手話通訳Ⅰ ホップ ステップ ジャンプ」（第3版2017年5月1日発行）
「手話通訳Ⅱ ホップ ステップ ジャンプ」（第4版2015年8月1日発行）
「手話通訳Ⅲ ホップ ステップ ジャンプ」（初版2017年1月31日発行）
「手話通訳者養成のための講義テキスト 改訂版」（第2版2021年5月24日発行）
発行：社会福祉法人全国手話研修センター

（2）国 語

手話通訳に必要な国語についての基礎知識や総合的な国語力の範囲

- ① 発音の仕方、音の区別、アクセント等
- ② 単語（言葉の意味、類義語、同音異義語、和語、漢語、外来語、新語、慣用句等）
- ③ 文法（品詞、文の構造等）
- ④ 文字（漢字、仮名遣い、表記法等）
- ⑤ 表現法（敬語の使い方、諸種の文章の書き方等）
- ⑥ 文章読解（やや長文の論理的な読解・要約等）
- ⑦ 簡単な文学史

2. 実技試験

場面通訳試験（場面における聞き取り及び読み取り通訳） 1問

ろう者ときこえる人の会話場面が映像で約4分間流れます。ろう者ときこえる人の会話場面を通訳して下さい。出題内容は、相談、医療、労働、文化活動等に関する問題とします。通訳内容はビデオカメラで収録し、採点評価します。

IV. 試験実施団体に提出する書類

受験申込者は、次の1～3の書類を試験実施団体に提出してください。

1. 受験申込書

記入もれのないようボールペンを使って楷書で正確に記入してください。

2. 受験票 ※写真貼付 切り離さないでください。

受験申込日より6ヶ月以内に撮影した上半身正面脱帽の証明写真(縦4.0cm×横3.0cm)を指定欄に貼付してください。写真を貼る前に裏面にボールペンで氏名を記入してください。

3. 受理票 ※写真貼付 受験票は切り離さないでください。

受験申込日より6ヶ月以内に撮影した上半身正面脱帽の証明写真(縦4.0cm×横3.0cm)を指定欄に貼付してください。写真を貼る前に裏面にボールペンで氏名を記入してください。

4. その他

※ご記入いただいた個人情報は、本人の承諾なしに本件目的以外に利用することはありません。

V. 受験者への注意事項

1. 試験全般

- ・試験中は、試験会場の指定された場所以外に立ち入らないでください。
- ・指定された場所以外での喫煙を禁止します。
- ・試験会場では、試験に関する問い合わせ等は受け付けません。
- ・試験会場に入ったら、携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ、パソコン等の通信機器は試験の終了まで使用できません。係員の指示に従って電源を切ってください。
- ・その他、試験監督者の指示事項に従ってください。
- ・受験票は、合否発表があるまで大切に保管してください。
- ・合否の問合せは実施団体にしてください。

2. 筆記試験

- ・試験当日は、受験票を忘れずに持参し、試験中は机の上に置いてください。
- ・試験開始30分前までに入室し、受験番号と同一番号の席に座ってください。
- ・筆記用具は、鉛筆、消しゴムをお持ちください。

3. 実技試験

実技試験は受験番号順に実施します。呼び出しがあるまで静かに待機してください。

VI. 新型コロナウイルス感染予防対策

試験当日は、新型コロナウイルス感染症等予防のため、症状の有無に関わらずマスクの持参と着用、手指の消毒、体温管理などをお願いいたします。体調不良の場合は、受験をひかえてください。

2022（令和4）年度 手話通訳者全国統一試験

受験申込書

（注）＊欄には記入しないこと

フリガナ		男 ・ 女	* 試験実施団体名 とちぎ視聴覚障害者情報センター
氏名			* 受験番号
生年月日	年 月 日生（ 歳）※12/3 現在の年齢		
住所	〒 ー		
	フリガナ		
連絡先	TEL		
	FAX		
	Eメール		
統一（登録） 試験受験経験	1) 全国統一試験（統一試験 H17～・登録試験 H12～）の受験経験 <input type="checkbox"/> 無い <input type="checkbox"/> 有る 2) 他の手話通訳試験の受験経験 <input type="checkbox"/> 無い <input type="checkbox"/> 有る→合格した（ 年度） →実施地域（ ）		
統一試験 受験者	1) <input type="checkbox"/> 手話通訳者養成課程修了（ 年度） 2) <input type="checkbox"/> 手話通訳専門課程を → <input type="checkbox"/> 卒業（ 年度） <input type="checkbox"/> 卒業見込 （学校・学科名 ）		
統一試験 免除者	3) <input type="checkbox"/> 手話通訳者全国統一試験合格（ 年度） →合格時の居住地（ ） 4) <input type="checkbox"/> 手話通訳技能認定試験（手話通訳士試験）合格 （ 年度） →合格時の居住地（ ）		

* 以外の項目はすべて記入して下さい

2022(令和4)年度 手話通訳者全国統一試験

受 験 票

(注) * 欄には記入しないこと

* 試験実施団体名 とちぎ視聴覚障害者情報センター		* 受験番号
フリガナ		
氏 名		6ヶ月以内撮影 写真貼付 縦 4.0cm × 横 3.0cm

2022(令和4)年度 手話通訳者全国統一試験

受 理 票 (実施団体保管)

(注) * 欄には記入しないこと

* 試験実施団体名 とちぎ視聴覚障害者情報センター		* 受験番号	6ヶ月以内撮影 写真貼付 縦 4.0cm × 横 3.0cm
フリガナ			
氏 名			
生年月日			
住 所	(〒 —)		
連絡先	TEL		
	FAX		
	Eメール		